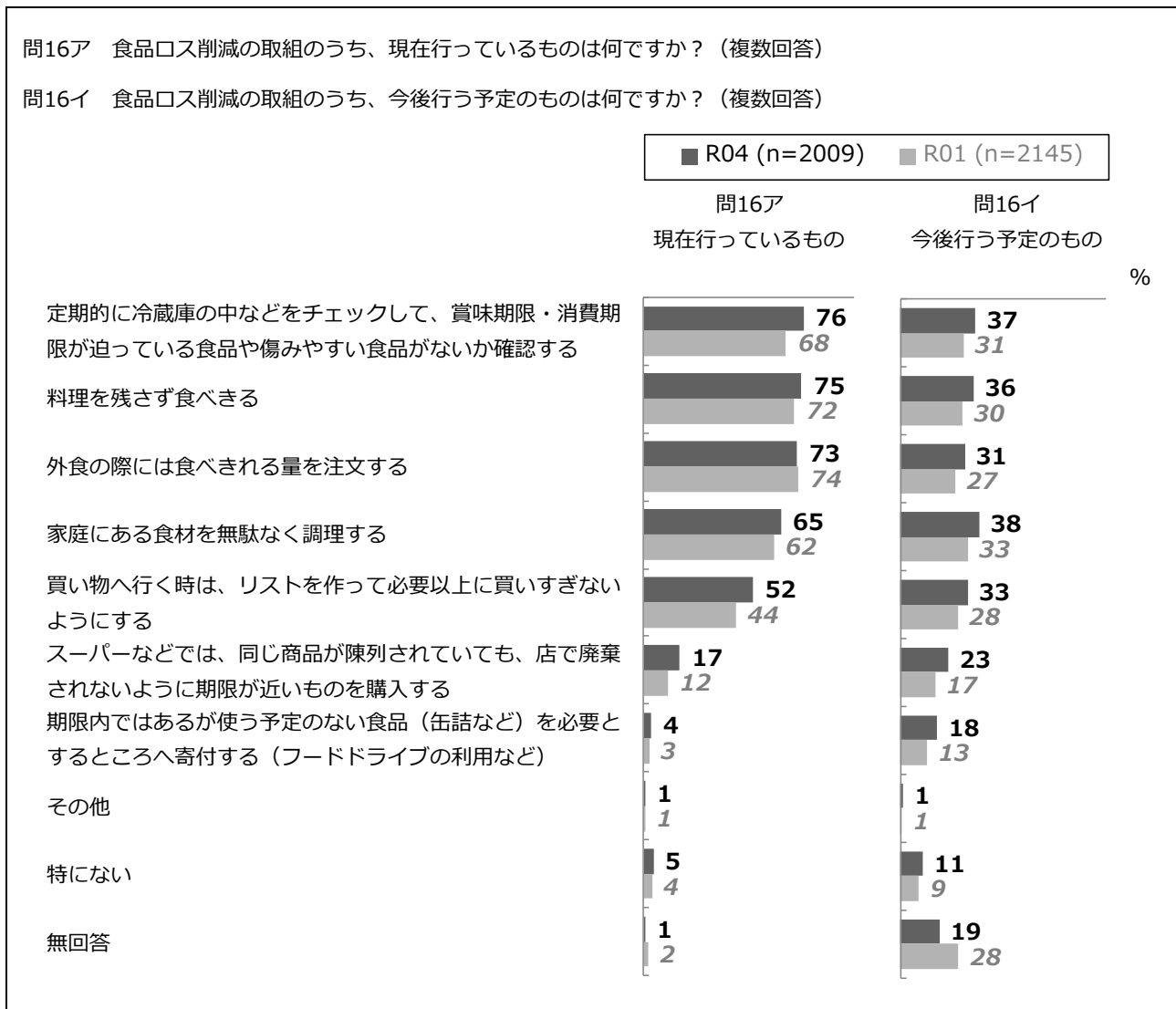


8 食品ロスの削減について

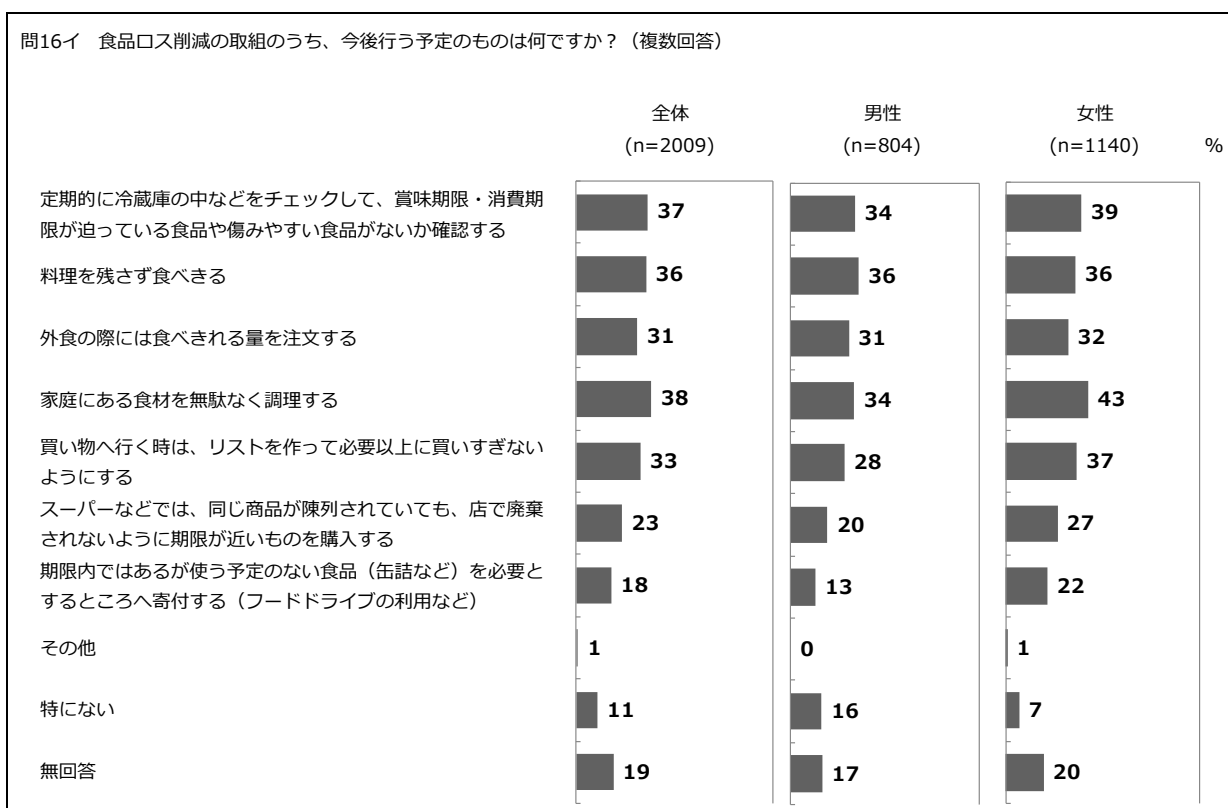
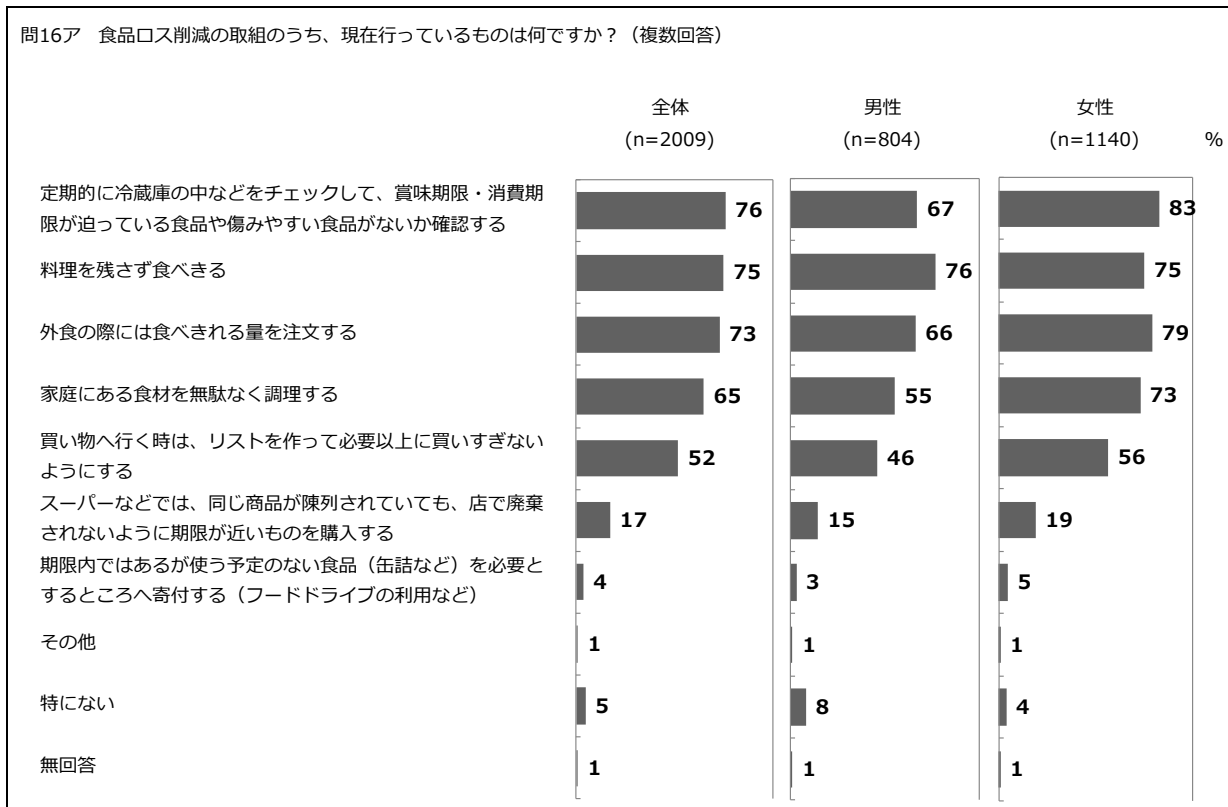
(1) 食品ロス削減に係る取組経験・今後の取組意向

- ・現在行っている食品ロス削減の取組については、「賞味期限・消費期限が迫っている食品がないか確認する」(76%)が最も多く、次いで「料理を残さず食べきる」(75%)、「外食の際には食べきれぬ量を注文する」(73%)、「家庭にある食材を無駄なく調理する」(65%)となっています。また、多くの回答が5割割合を超えていることから、食品ロスの取組みへの意識が高いことが伺えます。
- ・今後行う予定の取組については、「同じ商品が陳列されていても、期限が近いものを購入する」や「使う予定のない食品(缶詰など)を必要とするところへ寄付する」が、現在行っている取組を上回っています。



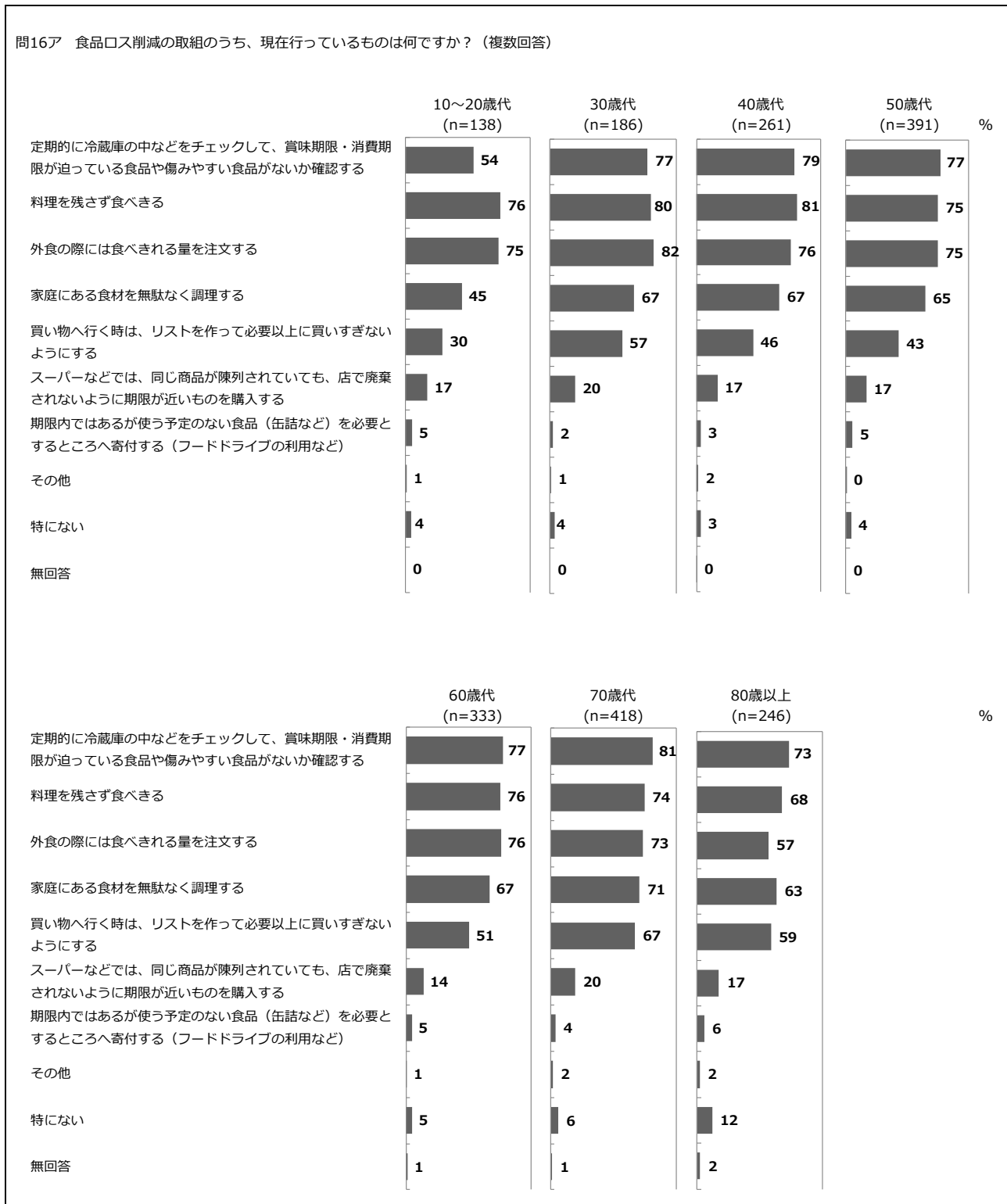
[性別 食品ロス削減に係る取組経験・今後の取組意向]

- ・性別で見ると、現在行っている食品ロス削減の取組については、「料理を残さず食べきる」は男性の割合が多く、それ以外の項目は女性の割合が多くなっています。
- ・今後行う予定の取組については、男性は「料理を残さず食べきる」、女性は「家庭にある食材を無駄なく調理する」の割合が最も多くなっています。

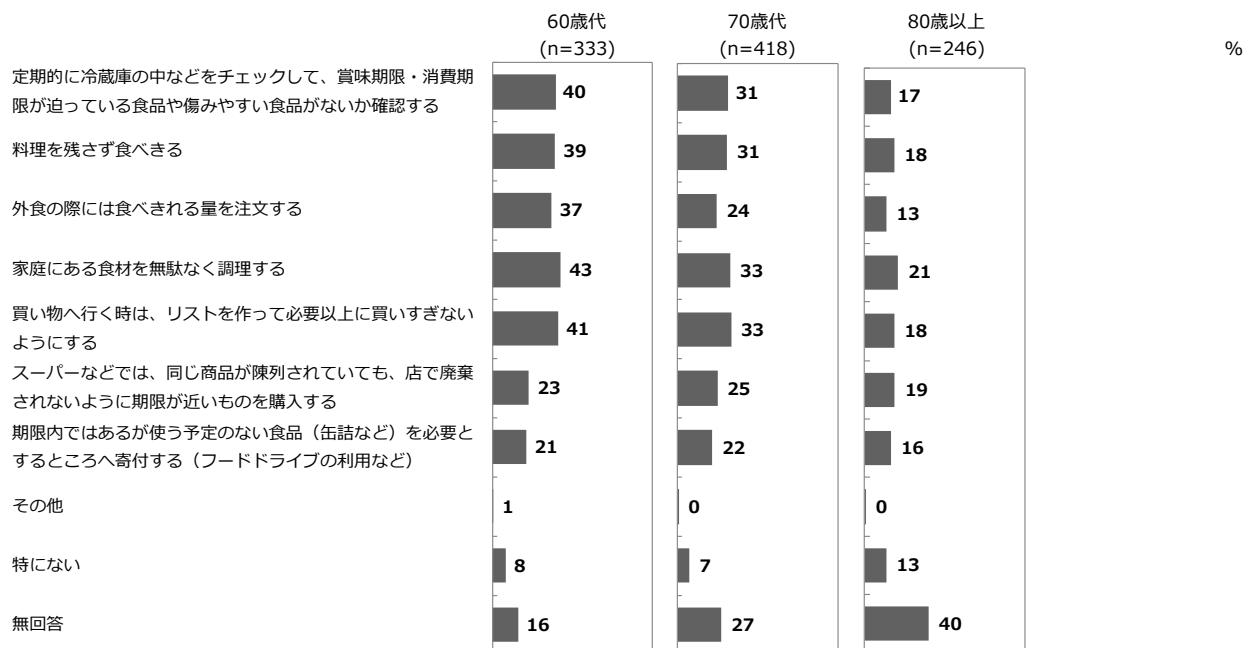
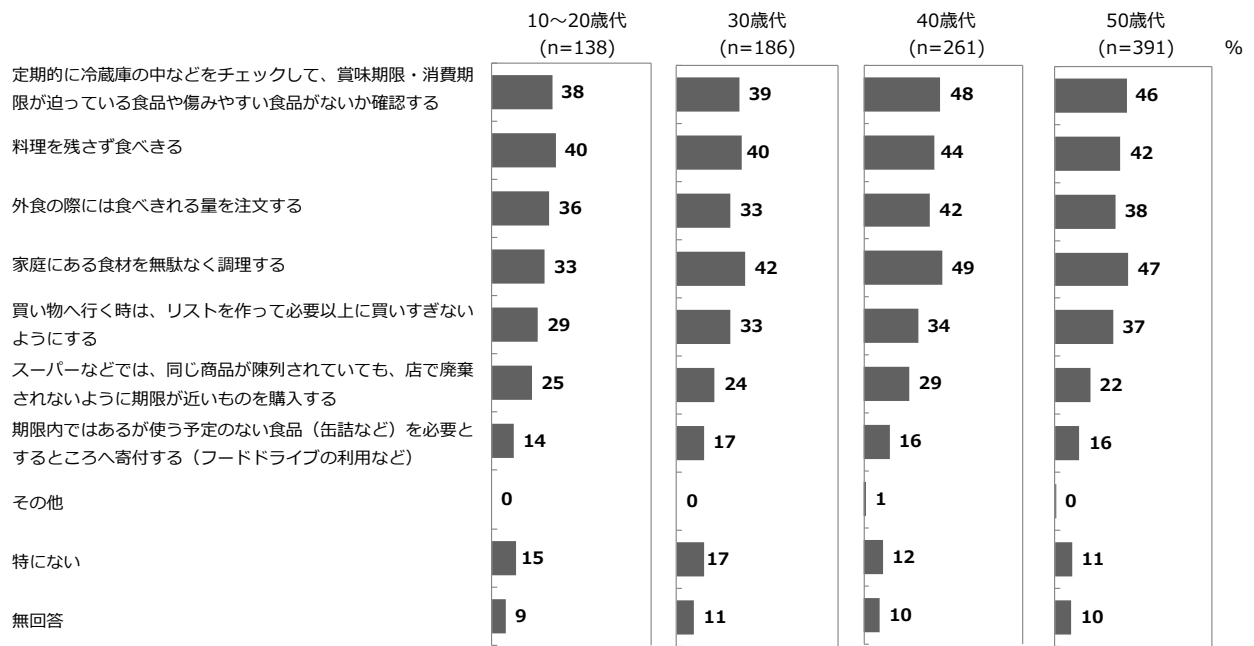


[年代別 食品ロス削減に係る取組経験・今後の取組意向]

- ・年代別で見ると、現在行っている食品ロス削減の取組については、「賞味期限・消費期限が迫っている食品がないか確認する」が、30歳代以上の年代では7割を超える割合となっていますが、10～20歳代では54%と低い割合になっています。
- ・今後行う予定の取組については、40・50歳代の割合が全体的に多く、食品ロス削減の取組み意識が高まっています。



問16イ 食品ロス削減の取組のうち、今後行う予定のものは何ですか？（複数回答）



(2) 食品ロス削減に係る取組を特に行っていない・行う予定がない理由

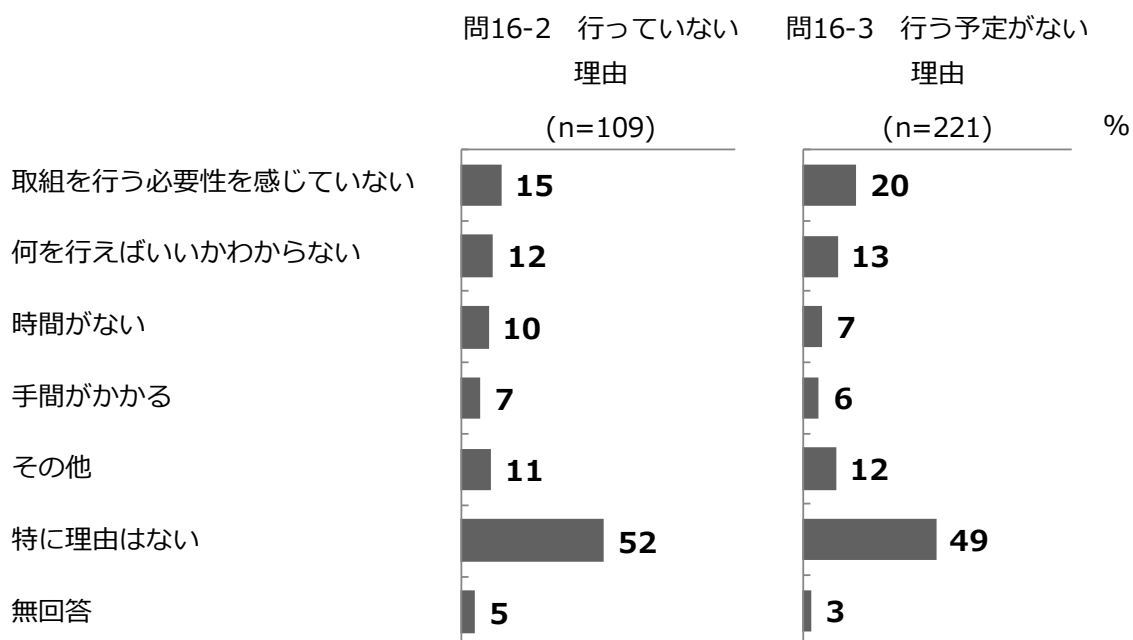
- ・現在行っている取組及び今後行う予定の取組について、「特にない」と回答した人の理由で最も多いのは、「特に理由はない」となっています。また、「取組を行う必要性を感じていない」や「何を行えばいいかわからない」といった回答も多くなっています。

※問16アで「特にない」と回答した方のみ

問16-2 問16アで「特にない」の理由は何ですか？（複数回答）

※問16イで「特にない」と回答した方のみ

問16-3 問16イで「特にない」の理由は何ですか？（複数回答）



(3) フードドライブの認知度

- ・フードドライブの認知度については、「知らない」の回答が61%と半数を超える回答となっています。また、フードドライブのことは知っているが、「どこに受取窓口があるかわからない」(16%)、「利用する気はない」(11%)といった回答も多くなっています。

[性別 フードドライブの認知度]

- ・性別で見ると、フードドライブの認知は、男性よりも女性の方が多くなっています。
- ・女性の「どこに受取窓口があるかわからない」は、約2割(19%)と割合が多くなっています。

